

定 款

社会福祉法人 三輪会

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

- (イ) 特別養護老人ホームの経営
- (ロ) 軽費老人ホームの経営

(2) 第二種社会福祉事業

- (イ) 老人居宅介護等事業
- (ロ) 老人デイ・サービス事業の経営
- (ハ) 老人短期入所事業
- (ニ) 認知症対応型老人共同生活援助事業
- (ホ) 老人福祉センターの経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人三輪会という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者、経済的に困窮する高齢者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を岐阜県岐阜市三輪 776 番地 2 に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員 7 名以上 10 名以内を置く。

2 前項の定数は、必ず理事の定数を超えるものとする。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任

委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者(租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。)の合計数が、評議員総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

- 第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 2 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。
 - 3 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

(評議員の報酬等)

第9条 評議員に対して、無報酬とする。

第3章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更

- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) 事業計画及び収支予算
- (10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (11) 公益事業に関する重要な事項
- (12) 解散
- (13) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

（開催）

第12条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

（招集）

第13条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

（決議）

第14条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 評議員会に議長を置く。

4 議長は、その都度評議員の互選で定める。

5 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第16条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

6 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第15条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び評議員会において選任した2名が前項の議事録に署名押印する。

第4章 役員及び職員

(役員の数)

第16条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上9名以内

(2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

(役員を選任)

第17条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員資格)

第18条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第19条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 理事長は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第20条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第21条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 理事又は監事は、第16条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任

した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

(役員解任)

第22条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第23条 理事及び監事に対して、無報酬とする。

(職員)

第24条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 理事会

(構成)

第25条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第26条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第27条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第28条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の

全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

3 理事会に議長を置き、議長はその都度選任する。

（議事録）

第29条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び理事会において選任した理事2名及び出席した監事は、前項の議事録に署名押印する。

第6章 資産及び会計

（資産の区分）

第30条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産、公益事業用財産の3種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- (1) 岐阜市大字三輪字川北778番5 (1, 484.00 m²)
- (2) 岐阜市大字三輪字川北776番2 (1, 286.00 m²)
- (3) 岐阜市大字三輪字川北778番4 (85.00 m²)
- (4) 岐阜市大字三輪字川北774番1 (601.65 m²)
- (5) 岐阜市大字三輪字川北774番4 (327.27 m²)
- (6) 岐阜市大字三輪字川北774番6 (1, 027.15 m²)
- (7) 岐阜市大字三輪字川北774番7 (39.96 m²)
- (8) 岐阜市大字三輪字川北771番1 (350.41 m²)
- (9) 岐阜市大字三輪字川北772番 (122.31 m²)
- (10) 岐阜市大字三輪字川北773番2 (99.17 m²)
- (11) 岐阜市大字三輪字川北774番2 (926.84 m²)
- (12) 岐阜市大字三輪字井ノ洞967番4 (50.00 m²)
- (13) 岐阜市世保北30番 (214.89 m²)
- (14) 岐阜市世保北32番 (296.00 m²)
- (15) 岐阜市世保北33番 (280.00 m²)
- (16) 岐阜市岩井4丁目10番1 (2,583.21 m²)
- (17) 山県市大字高木字戸羽1360番2 (3,076.81 m²)
- (18) 加茂郡富加町大平賀字後平1493番1 (126.00 m²)
- (19) 加茂郡富加町大平賀字後平1493番4 (2.99 m²)
- (20) 加茂郡富加町大平賀字後平1494番1 (64.00 m²)
- (21) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番1 (18,441.00 m²)
- (22) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番2 (18.00 m²)
- (23) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番5 (2,868.00 m²)
- (24) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番6 (1,710.00 m²)
- (25) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番7 (5.60 m²)

- (26) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番8 (4, 005.00 m²)
- (27) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番9 (668.00 m²)
- (28) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番10 (4.50 m²)
- (29) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番28 (1.90 m²)
- (30) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番29 (0.53 m²)
- (31) 山県市大字高木字戸羽1364番 (3, 170.00m²)
- (32) 山県市大字高木字戸羽1366番1 (1, 060.00m²)
- (33) 山県市大字高木字戸羽1366番2 (987.00m²)
- (34) 山県市大字高木字戸羽1367番1 (789.00m²)
- (35) 岐阜市大字三輪字川北776番地2、778番地5、774番地6所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建1棟 (1, 660.75 m²)
- (36) 岐阜市大字三輪字川北774番地1、774番地4、774番地6、774番地7、776番地2所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階建1棟 (1, 566.96 m²)
- (37) 岐阜市大字三輪字川北778番地5、774番地2、776番地2所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 (891.95 m²)
- (38) 岐阜市大字三輪字川北774番地6、774番地1、774番地4、776番地7、岐阜市大字三輪字井ノ洞967番地所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 (895.60 m²)
- (39) 岐阜市大字三輪字川北774番地2、774番地2先所在の鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 (1, 651.22 m²)
- (40) 岐阜市世保北32番地、33番地所在の鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 (989.96 m²)
- (41) 関市洞戸市場字溜池738番地、関市洞戸栗原字マチウラ287番地1、関市洞戸通元寺字鈴淵261番地、関市洞戸通元寺字植ノ段205番地1所在の鉄筋コンクリート造合金メッキ鋼板ぶき3階建 (7, 018.71 m²)
- (42) 岐阜市岩井4丁目10番地1所在の鉄筋コンクリート造かわらぶき3階建 (2, 297.21 m²)
- (43) 山県市大字高木字戸羽1360番地2所在の鉄骨造陸屋根3階建 (2, 774.35 m²)
- (44) 山県市大字高木字戸羽1366番地1、1365番地、1366番地2所在の鉄骨造陸屋根4階建 (4, 521.21 m²)
- (45) 加茂郡富加町大平賀字後平1495番地1所在の鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき・陸屋根3階建 (4, 390.82 m²)

3 その他財産は、基本財産、公益事業用財産以外の財産とする。

4 公益事業用財産は、第39条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第31条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意及

び評議員会の承認を得て、岐阜県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、岐阜県知事の承認は必要としない。

- 一 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- 二 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

（資産の管理）

第 32 条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

（事業計画及び収支予算）

第 33 条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第 34 条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第 1 号、第 3 号、第 4 号及び第 6 号の書類については、定時評議員会に提出し、ただし、社会福祉法施行規則第 2 条の 39 に定める要件に該当しない場合には、第 1 号の書類を除き、定時評議員会への報告に代えて、定時評議員会の承認を受けなければならない。

- 3 第 1 項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に 5 年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第 35 条 この法人の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第 36 条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第 37 条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第 38 条 この法人が保有する株式（出資）について、その株式（出資）に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数の 3 分の 2 以上の承認を要する。

第 7 章 公益を目的とする事業

(種別)

第 39 条 この法人は、社会福祉法第 26 条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 居宅介護支援事業の経営
- (2) 訪問入浴介護事業の経営
- (3) 地域包括支援センターの受託経営
- (4) サービス付き高齢者向け住宅の経営

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

第 8 章 解散

(解散)

第 40 条 この法人は、社会福祉法第 46 条第 1 項第 1 号及び第 3 号から第 6 号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第 41 条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議

を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第9章 定款の変更

(定款の変更)

第42条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、岐阜県知事の認可（社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を岐阜県知事に届け出なければならない。

第10章 公告の方法その他

(公告の方法)

第43条 この法人の公告は、社会福祉法人三輪会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第44条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員、評議員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	壺 阪 国 一
理 事	兼 松 康 夫
理 事	壺 阪 善 樹
理 事	高 木 健 二
理 事	野 田 安 彦
理 事	佐 崎 十 三 男
理 事	長 谷 川 清 美
理 事	田 中 久
理 事	井 上 金 市
理 事	坂 手 八 郎
理 事	加 藤 富 雄
監 事	小 椋 敬
監 事	佐 合 悦 男

改正

老第179号	昭和63年	5月19日	定款変更
高第222号	平成元年	5月10日	定款変更
高第134号	平成4年	4月1日	定款変更
高第491号	平成4年	7月14日	定款変更
岐阜県指令高第420号	平成6年	7月25日	定款変更
岐阜県指令高第725号	平成7年	11月27日	定款変更
岐阜県指令高第791号	平成8年	11月14日	定款変更
岐阜市指令福高第3号	平成10年	4月17日	定款変更
岐阜市指令福高第6号	平成12年	3月28日	定款変更
岐阜市指令福高第9号	平成13年	1月24日	定款変更
岐阜市指令福高第17号	平成14年	12月2日	定款変更
岐阜市指令福高第91号	平成16年	3月1日	定款変更
岐阜市指令福高第15号	平成16年	7月8日	定款変更
岐阜市指令福高第65号	平成17年	11月29日	定款変更
岐阜市指令福介第94号	平成18年	9月29日	定款変更
岐阜市指令福介第86号	平成19年	12月6日	定款変更
岐阜県指令高第11号の70	平成20年	3月24日	定款変更
高第421号	平成20年	9月12日	定款変更
岐阜県指令高第11号の46	平成21年	3月5日	定款変更
高第29号の5	平成22年	10月14日	定款変更
高第95号	平成23年	4月28日	定款変更
高第786号	平成23年	9月30日	定款変更
岐阜県指令高第36号の20	平成26年	3月7日	定款変更
岐阜県指令高第209号の9	平成26年	11月20日	定款変更
高第364号の6	平成26年	12月15日	定款変更
岐阜県指令高第2号の13	平成28年	3月11日	定款変更
岐阜県指令高第60号の42	平成29年	1月24日	定款変更
岐阜県指令高第60号の43	平成29年	2月3日	定款変更
高第177号	平成29年	5月22日	定款変更
岐阜県指令高第909号	平成30年	3月6日	定款変更
高第416号	平成30年	8月13日	定款変更